

## 検討課題と河川管理者に資料提供と説明のお願い

利水・水需要部会関係 2005.05.11 作成

荻野利水・水需要管理部会長

第6回利水・水需要管理部会(4月24日開催)の審議結果を整理して、今後の検討課題(案)を運営委員会(5月10日開催)に報告し、了承されました。運営委員会後、吉田所長と河川管理者からの資料提供と説明をお願いする事項について打ち合わせを行いました。資料提供と説明事項についてその趣旨をそえて、委員会から河川管理者をお願いすることになりました。よろしくお願いたします。

### 趣 旨

20～30年後の淀川一級水系全体のあり方、水需要管理の根本理念を構築して、河川整備計画に反映する。また、河川事業・ダム事業にかかわる再評価・事後評価について審議を行い、意見を述べる。

### 検討課題(当面の検討課題として次の2課題をあげる)

#### その1 維持流量の検討

#### その2 平成6年渇水の検討

前委員会での積み残し課題も含めて、検討結果を以下の当面の課題に取りまとめ、整備計画等に意見を述べて、再評価・事後評価に反映する。

1. 需要管理(上工水・農水)と維持流量(環境等)のあり方、
2. 工事中のダムの検討と既設ダム群の利水管理、
3. 水需要の精査確認、
4. 水利権の見直し・異常渇水時の水融通の拡大、
5. 利水安全度の再評価と環境へ戻す水需要、等

### 河川管理者から資料等の提供と説明をお願いする事項:

その1について、

1. 淀川水系の河川維持流量(維持流量の定義と経緯、基準点確保流量・基準渇水流量・計画基準年等低水流量)
2. 利水管理の実際(琵琶湖水位管理の考え方、ダム群の利水管理の現状)
3. 大川等の維持流量の確保実績(渇水年における維持流量のカットの現状)
4. 淀川河川事務所に設置された「河川維持流量検討委員会」との情報共有

その2について、

1. 平成6年の河川流況(大口水需要者の取水実績・取水制限、大川・神崎川・大堰等の流量、枚方・桂川・木津川等の基準点流量、瀬田川洗堰放流量、琵琶湖水位、高山ダム・日吉ダム(供用開始になっていない)放流量、等の状況)
2. 河川管理者の監督指導、渇水調整協議会の開催状況、水融通の実績、
3. 水道事業者等の対応について(取水制限下における各種の節水対策/PR等)
4. 環境問題の発生とその対策(琵琶湖水位低下対策、大川・寝屋川等水質汚濁実態)
5. 水資源機構の「平成6年渇水記録」(平成7年3月)の提出

なお、これらの資料説明に加えてこれまで提供していただいている資料も新部会で検討する予定です。